

## 令和元年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

### 1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者	社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会
指定期間	令和2年4月1日～令和12年3月31日
施設概要	施設入所・短期入所・通所リハビリテーションサービス（予防含む）
市支出額	無し

### 2. 事業の実施状況

各サービスの利用状況	<p style="text-align: center;">（令和1年度実績）</p> <p>（1）施設入所・短期入所（予防含む） 定員100名 利用者数：33,373人（延べ） 91.2人（1日平均）</p> <p>（2）通所リハビリテーション（予防含む） 定員40名 利用者数：9,365人（延べ） 30.3人（1日平均）</p>
リハビリテーションの充実	<p>（1）個別リハビリテーションの充実 入所・通所において、個別リハビリテーションの強化に 取り組み、一人ひとりの利用者様に対して具体化した リハビリを実施しました。</p> <p>（2）在宅向けリハビリの実施 在宅復帰を目的とした、在宅訪問を実施することによる、 在宅生活を見据えた、リハビリテーションを実施しました。</p>
行事・レクリエーションの充実	<p>（1）入所</p> <p>①職員によるレクリエーションの実施（毎日）</p> <p>②季節に応じた行事の実施 4月：花見、5月：外出レク、7月：七夕祭り、 8月：暑気払い、9月：敬老祝賀会、10月：秋祭り、 11月：運動会、文化祭、12月：年忘れ会、 1月：双六大会、2月：節分、3月：雛祭り</p> <p>（2）通所</p> <p>①職員によるレクリエーションの実施（毎日） 利用者様それぞれの機能レベルに合わせたレクリエーション を実施出来るよう努めています。</p> <p>②季節に応じた行事の実施 ※節分、七夕、盆踊りなど</p>

<p style="text-align: center;"><b>ボランティアの受け入れ</b></p>	<p>(1) サークル活動ボランティアの受け入れ 定期的なサークル活動を手伝っていただけるボランティアの受け入れを積極的に行っています。 ※ボランティア受入状況：12 団体</p> <p>(2) 多様なボランティアの受け入れと福祉教育への取り組み</p> <p>①各行事へのボランティア募集 ※踊り、吹奏楽、フラダンスなど</p> <p>②福祉教育への協力（福祉体験）、臨床研修医の受入れ ※受入実績：2人（箕面市）、医師3人</p>
<p style="text-align: center;"><b>人材育成の推進</b></p>	<p>(1) 外部研修の活用 スキルアップのため外部の研修に積極的に参加しています。また、外部研修で得た知識、技術を他の職員に還元するため、職員自らが講師となり、内部研修も充実させています。 ※外部研修実績：34件 内部研修実績：12件</p> <p>(2) 看護、介護、リハビリ職員の指導力養成 実習受入マニュアルによる体系的な指導を実施しています。実習生を受け入れることで、将来の人材を育成すると同時に当施設職員の指導力能力の向上が期待できます ※実習生受入実績：62人</p>
<p style="text-align: center;"><b>危機管理対策の推進</b></p>	<p>(1) リスクマネジメントシステムの構築 リスクマネジメント委員会を設置し、各種委員会で取り上げた意見や事案を集約するシステムを構築しています。現場のスタッフが日々感じているリスクを常日頃から集約し、施設全体の問題であると捉えることで、リスクの未然防止および危機発生時の迅速な対応を可能としています。</p> <p>(2) 感染予防対策の強化 ポスター啓蒙や手指消毒の徹底、インフルエンザワクチンの接種、感染予防の研修など、内部の感染対策に関して、細心の注意を払っています。</p>

### 3. 利用者の満足度

#### (1) 利用者アンケートの状況

<p><b>アンケートの結果概要</b></p>	<p>調査期間：令和2年10月15日～令和2年11月15日 配布数：入所85人 通所85人 全体170人 回答数：入所30人 通所36人 全体 66人 回答率：入所35.3% 通所42.4% 全体38.8%</p>
--------------------------	---

## (2) 利用者等の意見交換会の状況

<b>意見交換会の結果概要 (箕面市立老健独自)</b>	毎年、箕面市立老健ではアンケートの結果報告をふまえて、独自の意見交換会を行っています。 意見交換会では、家庭介護の相談や老健に対しての要望等の意見をいただきました。家族の悩みに即対応できる関係づくりの大切さを改めて認識し、要望に対して改善できる点は迅速に改善していくよう心がけていきます。
----------------------------------	---

## (3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

<b>取り組みの実施状況</b>	(1) 接遇について 専門職としての態度を身に着けることが、ご利用者の安心や信頼を得られることであり「接遇のスキル」を高めるよう努力します。 (2) 園芸について 通所ご利用者様からご意見いただいた園芸部は好評いただいています。 (3) 設備について 設備等古くなっておりませんが、改修改善できるところは迅速に対応します。
------------------	--

## 4. 収支状況

(令和1年度実績) 収入：630,692,883円 支出：633,827,511円 差額：△3,134,628円
---

## 5. 特別提案の状況

<b>訪問リハビリの実施</b>	入所および通所の「施設型」だけでなく、在宅へ出向く「訪問型」のサービスとして、平成29年12月1日からスタートしました。 ご利用者様一人ひとりの生活に寄り添った目標設定を行いながら在宅生活を支えるリハビリを行っています。 (令和1年度実績) 利用者数：161人(延べ)
<b>市内高齢福祉ネットワークの構築</b>	市内4カ所の介護老人保健施設をはじめ、特別養護老人ホーム等施設のネットワーク化を図るため、当施設を中心に連絡会組織を立ちあげています。 市内11施設1病院が2か月に一度、施設連絡会に参加し、情報交換や情報共有を行いました。 また、看護・介護・リハビリに関する勉強会を開催し、連絡会全体のレベルアップを図っています。
<b>出前講座の実施</b>	社協法人全体の取り組みとして各部署の得意分野を生かした出前講座を企画して、地域へ福祉の啓発や知識・技術の還元を行っています。認知症サポーター養成、認知症サポーターステップアップ講座、体力測定等市民の方々に向けた講座を実施いたしました。 また、市内学童保育の子どもたちを対象に認知症サポーター講座を行いました。

## 6. 指定管理者の自己評価

本施設は、利用者アンケートを毎年実施しており、利用者の満足度という視点からの集約を毎年行っています。

具体的には、質問項目の回答で（ア・十分満足の趣旨）及び（イ・ある程度満足の趣旨）と回答された方の割合（以下「満足度」という。）について、前年度との比較を中心に分析を行っています。

アンケートの実施状況としては、質問項目の全体の満足度の平均は87.5%となり、昨年より0.4%上昇しました。

施設内医療の充実を図り「看取り」を継続的に実施するとともに、在宅復帰を支援する「在宅超強化型」老健として運営しました。

福祉人材不足の影響から年々人員補充が厳しくなっています。

市立老健の安定的な運営を目指し、本アンケートに寄せられた多様な意見を参考に、更なる業務改善を図って参ります。